

令和3年度 大阪市立北稜中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		
		国語	数学	国語	数学	
3年	学校	126	72	70	1.9	5.2
	大阪市	—	61	55	5.1	12.3
5月27日	全国	—	64.6	57.2	4.4	11.2

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)					
		国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語	
3年	学校	142	74.0	56.3	60.9	49.9	67.7	3.8	3.8	8.2	2.5	1.3
	大阪市	—	65.6	47.5	46.9	42.6	52.9					
	大阪府	—	65.8	48.2	48.1	43.0	53.2	7.6	5.8	11.2	4.5	3.4

※

令和3年度 大阪市立北稜中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

■成果

<国語>

平均正答率はすべての領域において全国平均を上回った。

正答率が5割以下の生徒は15.9%であった。

<数学>

平均正答率はすべての領域において全国平均を上回った。

正答率が5割以下の生徒は16.8%であった。

■課題

いずれの教科においても、主として正答率が5割以下の生徒が一定数いる。

習熟度別少人数授業等を活用し、個に応じた手厚い指導を継続していく必要がある。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

■成果

平均点はいずれの教科においても大阪府および大阪市と比較して高い結果であった。

国語、社会、数学、理科において、記述式問題では選択式や短答式の問題と比べて

正答率が低くなっている。この傾向は大阪府平均においても同様である。

英語においては記述式問題においても、高い正答率である。

大阪府での平均正答率が他教科同様に低いことと比べて顕著な違いである。

■課題

英語科での記述式問題の正答率の高さの要因を分析し、校内で共有するとともに、

教科横断的に言語活動の充実を図り、自分の考えを表現する力の育成に努めたい。

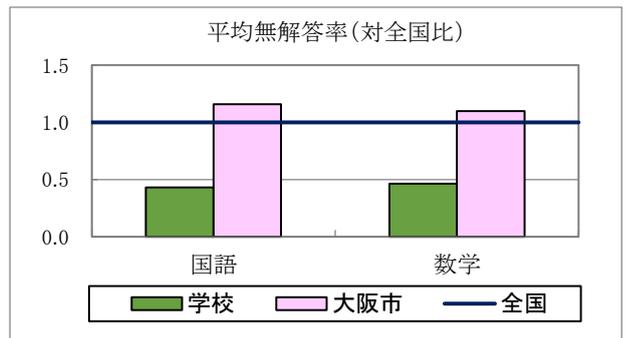
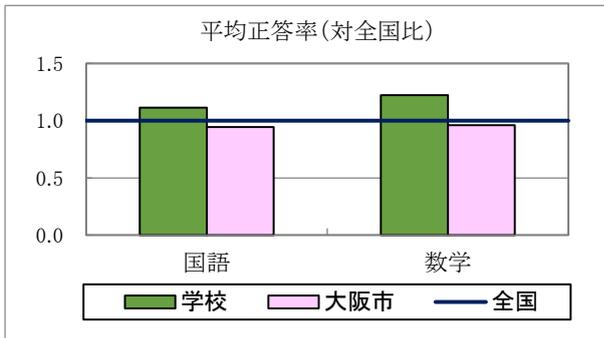
令和3年度 大阪市立北稜中学校中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

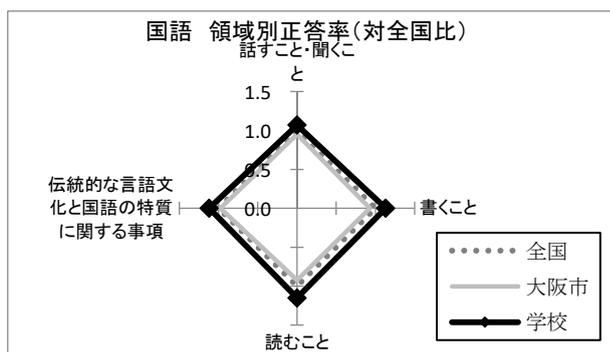
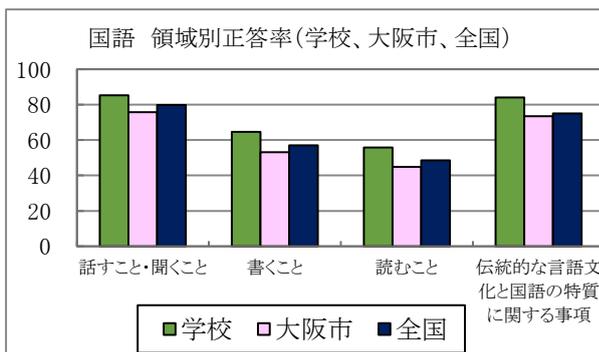
	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	72	70
大阪市	61	55
全国	64.6	57.2

平均無解答率(%)	
国語	数学
1.9	5.2
5.1	12.3
4.4	11.2



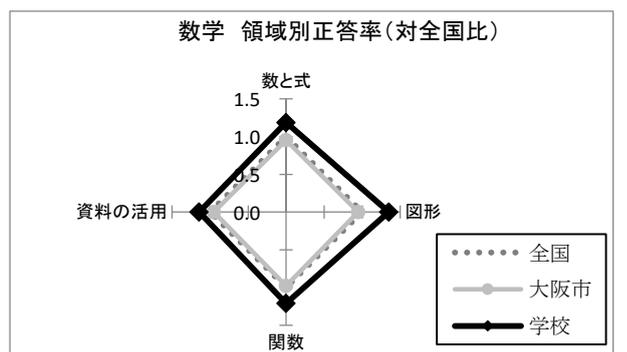
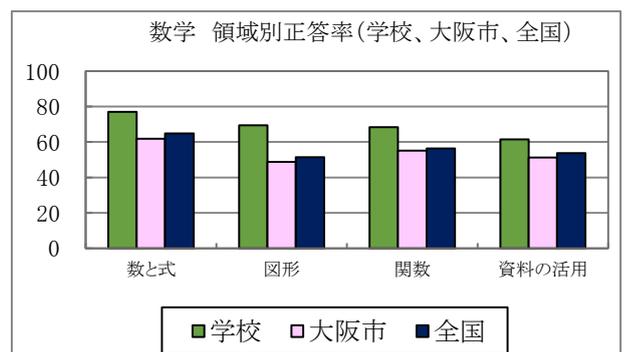
【 国 語 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	85.2	75.8	79.8
書くこと	3	64.6	53.1	57.1
読むこと	4	55.8	44.8	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	84.1	73.4	75.1



【 数 学 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	5	77.1	61.8	64.9
図形	4	69.4	48.7	51.4
関数	3	68.3	55.2	56.4
資料の活用	4	61.5	51.2	53.8



令和3年度 大阪市立北稜中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

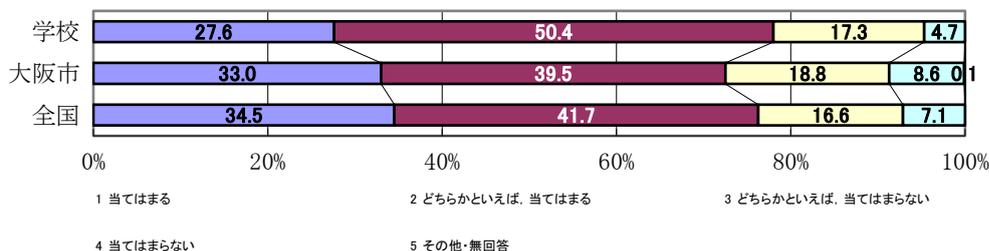
生徒質問紙より



質問番号
質問事項

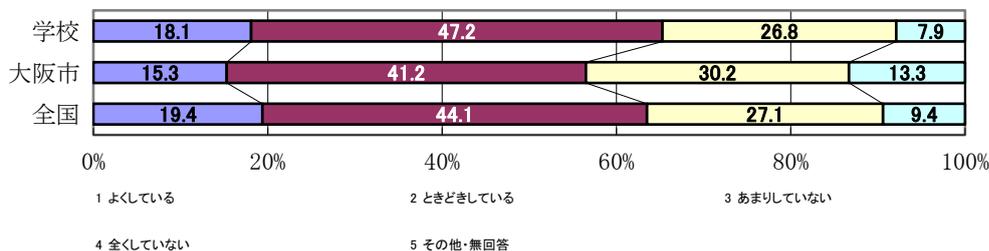
6

自分には、よいところがある
と思いますか



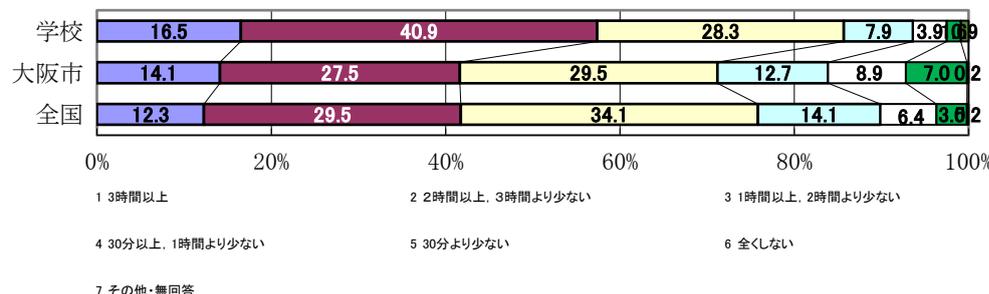
17

家で自分で計画を立てて
勉強をしていますか(学校の
授業の予習や復習を含
みます。)



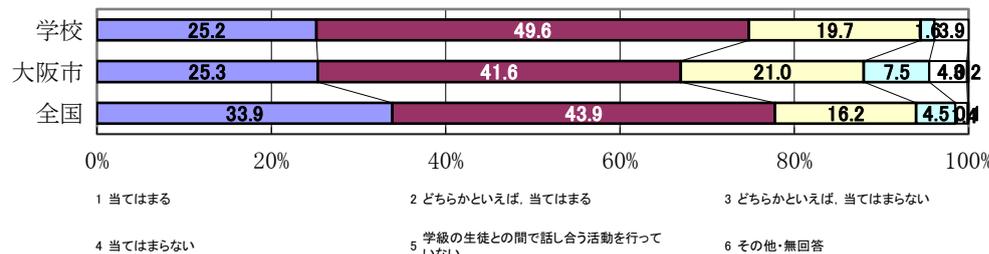
18

学校の授業時間以外に、
普段(月曜日から金曜日)、
1日当たりどれくらいの時
間、勉強をしますか(学習
塾で勉強している時間や家
庭教師に教わっている時



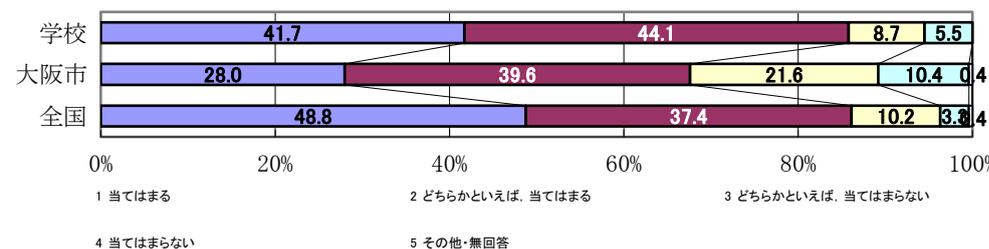
37

学級の生徒との間で話し合
う活動を通じて、自分の考
えを深めたり、広げたりする
ことができているか



42

道徳の授業では、自分の
考えを深めたり、学級やグ
ループで話し合ったりする
活動に取り組んでいますか



令和3年度 大阪市立北稜中学校中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

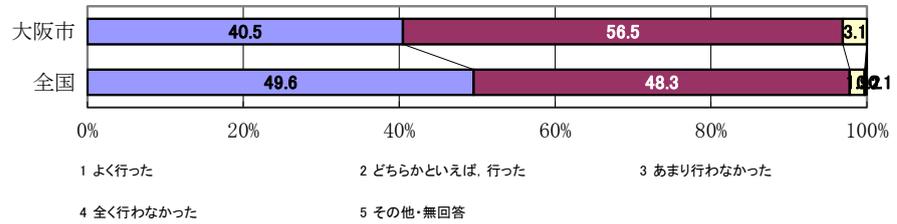
学校質問紙より



質問番号
質問事項

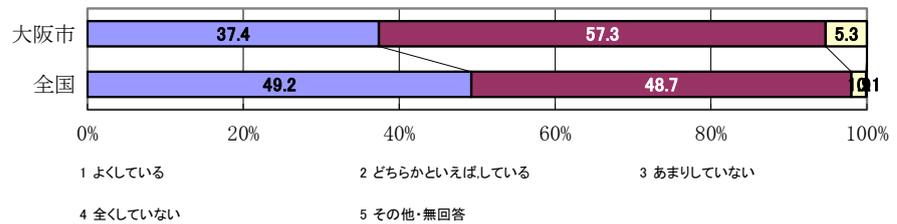
8
調査対象学年の生徒に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

学校 「よく行った」を選択



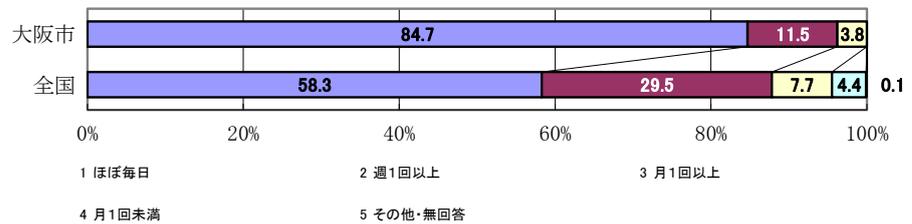
44
調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



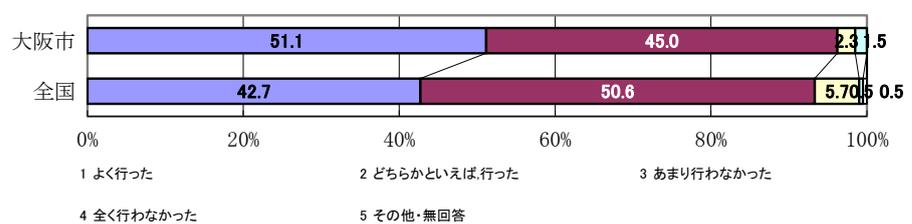
66
前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



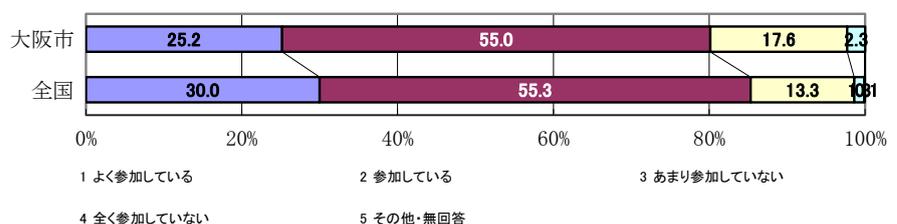
76
学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



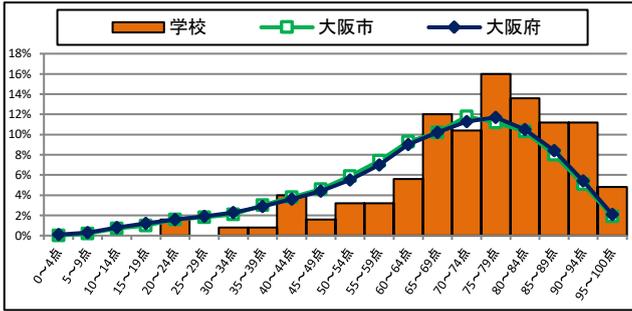
82
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択

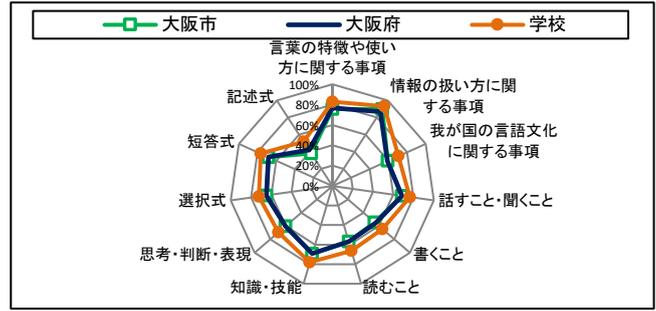


【国語】

【得点分布】

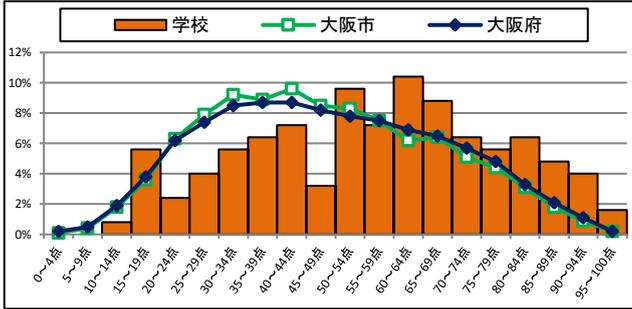


【領域・観点・問題別の分布】

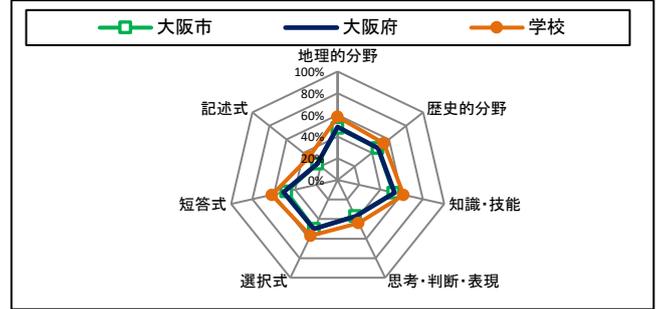


【社会】

【得点分布】

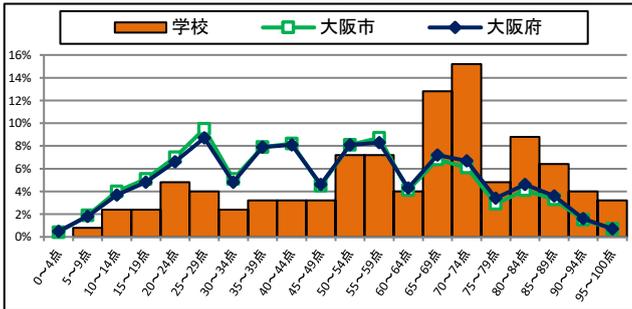


【領域・観点・問題別の分布】

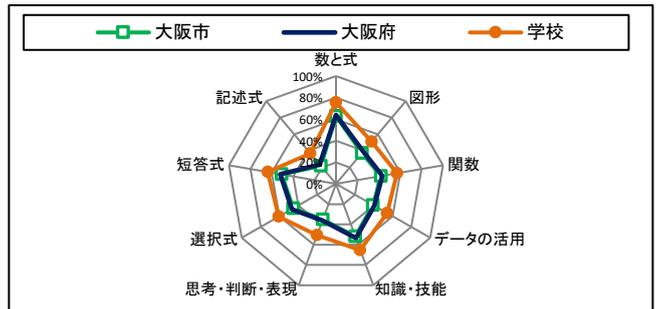


【数学】

【得点分布】

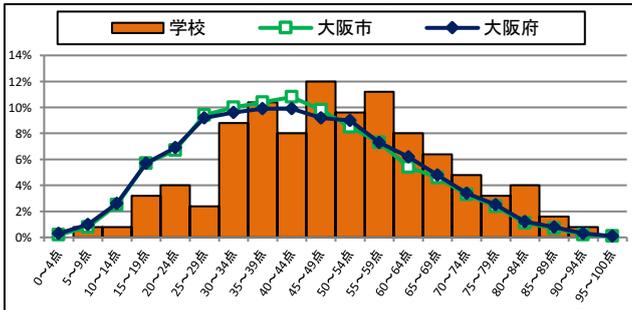


【領域・観点・問題別の分布】

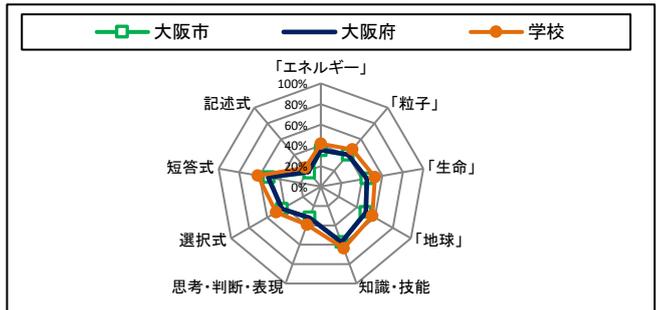


【理科C】

【得点分布】

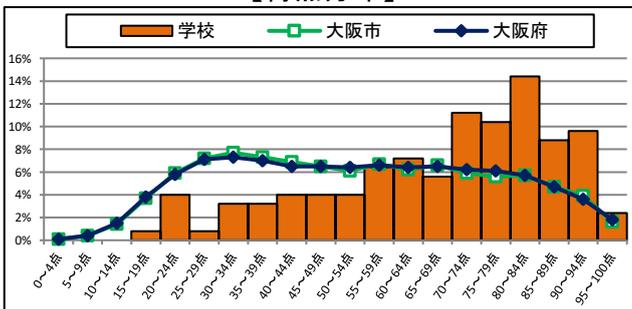


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

